

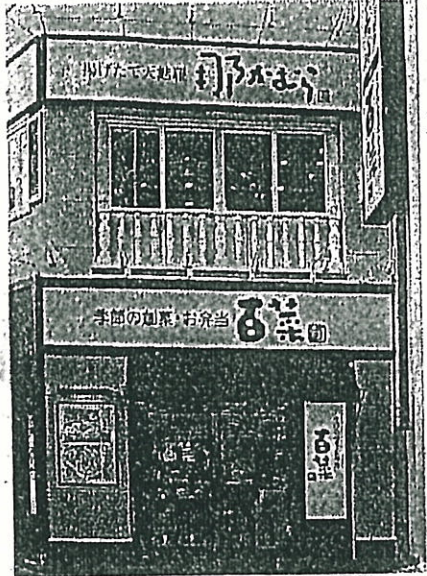
2005年(平成17年)12月16日(金曜日)

庄屋フード

総菜・天ぷら店展開

伊料理店 業態の多様化加速

和食レストランを展開する庄屋フードシステム(長崎県佐世保市、中村信機社長)は総菜店とカウンター式の天ぷら店を新業態として多店舗展開する。外食市場の伸び悩みが続く中で成長の見込める総菜分野に進出。天ぷら店も展開し消費者の好みの多様化に対応する。今年本格展開を始めたイタリア料理店も含め、新業態で年間二億円の売り上げを目指す。



惣菜店と天ぷら店は佐世保市内に1号店を開店した

総菜店は「百菜」、天ぷら店は「那かむら」でこのほど1号店を佐世保市中心部の同じビルにオープンしている。

百菜は和洋約四十種の総菜を量り売りの方式で弁当も販売する。煮込みハンバーグや大根のエキピそぼろあんかけ、手作り豆腐など、デパ地下を

イメージして高級感のある食材を置いている。年明け以降、長崎県内のスーパー内店舗や福岡県での路面店を開設する計画。

一方、那かむらはカウンター方式で揚げたての天ぷらを提供する。エビやイカなどの天ぷらをコースで千円で提供する安さを売り物にする。来春に福岡県の商業施設内に2号店を開く計画だ。

同社の主力は「庄屋」の店名で九州北部に展開している和食のファミリーレストランで、居酒屋なども手掛けている。二〇〇五年三月期の売上高

は四十八億円。

今期は商業施設内で庄屋の出店を進めたほか、今年夏にはイタリア料理店「マルゲリータ」の多店舗展開をスタートし、和食以外の新分野開拓を進めてきた。マルゲリータは来春に長崎市内で3店目を開く予定。総菜や天ぷらなど新業態も合わせ、今期の売上高を五十億円程度に引き上げる計画だ。